

民法 III

2 units 3rd-year(1st semester)

Yoshinori Naoi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES, Katsuyuki Uehara · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 民法 I・II の学習をもとに、金融界で必須の債権総論・担保物権に関する知識を身につけ、民法のうち財産法領域の体系的な理解をする。

Outline) 本講義では、金融界で必須の知識となっている保証人・抵当権・連帯債務などについて扱う債権総論・担保物権法を、これまでに学習した事例との関連に気を配りながら講じていく。余力があれば最先端の金融手段についても講じることとしたい。

Keyword) 債権, 保証, 担保, 抵当権

Fundamental Lecture) “民法 I”(1.0), “民法 II”(1.0)

Notice) 毎回六法を持参すること。

Goal) 民法の根底をなす概念を習得することにより、物権法・債権法と関連させた形で財産法の全体像が把握できるようにする。

Schedule)

1. 債権内容の確定
2. 弁済
3. 債権譲渡
4. 強制履行
5. 損害賠償
6. 債権者代位権
7. 詐害行為取消権
8. 連帯債務・保証債務
9. 抵当権 1(概要)
10. 抵当権 2(効果)
11. 抵当権 3(特殊な抵当権)
12. 非典型担保 1(仮登記担保)
13. 非典型担保 2(譲渡担保・所有権留保)
14. 法定担保物権 (留置権・先取特権)
15. 質権
16. 期末試験

Evaluation Criteria) 出席状況 (25 点) ならびに期末試験の成績 (75 点) による。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook)

- ◇ 大村敦志 『基本民法 III 第 2 版』 (有斐閣)
- ◇ 中田裕康=潮見佳男=道垣内弘人編 『民法判例百選 I 第 6 版』 (有斐閣)

◇ 中田裕康=潮見佳男=道垣内弘人編 『民法判例百選 II 第 6 版』 (有斐閣)

Reference) 講義の際に適宜紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219314>

Contact)

⇒ Naoi (naoi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日 10 時 25 分 ~ 11 時 55 分)

⇒ Uehara (+81-88-656-7173, uehara@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL